

学校名 府立布施工科高等学校	名前
----------------	----

## 1 学校教育目標（めざす生徒像）

「人づくり・ものづくり・夢づくり」のスローガンのもと、ものづくりの要諦である5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）+2A（挨拶・安全）の徹底を礎として、基礎学力、基本技能を高め、知・徳・体（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を調和よく育むとともに、校内・外の企業技術者や教職員によるデュアルシステム教育等による現場スキル（技能・技術）や豊かな教養を身につけ、グローバル社会で役割を担い、社会人として判断力・行動力のある逞しいエンジニアを育成する。

## 2 令和4年度の校内研究の取組み

### （1）研究テーマ及び設定理由

#### ①研究テーマ

「愛される人材の育成」

#### ②テーマ設定理由

規律、夢・自己実現、計画推進力などをふまえて、「人が求めるもの、喜ぶこと」を読み取って行動できる生徒を育てたい。そのため、次の2点を教員は意識したい。

- ・教員の声掛け…思いが伝わる声掛けを意識する。  
 社会人（人）として大切なことに気付かせる
- ・授業の仕掛け…主体的に学ぶ、規律・整理・整頓の意識をもつ、  
 できていない友達に教えてあげる（教え合い）、適切なアクション  
 →意識・気持ちを行動で表現させるための工夫

### （2）校内研究の取組みについて

#### ①研究の基本的な考え方・全教職員で共通理解したこと（明確化した今年度のポイント）

- (ア) 共通するテーマをもった研究授業・協議を通じて、協働した授業力向上を図る。
- (イ) 「めざす生徒像」「付けたい力」の共有。
- (ウ) 授業改善や生徒の課題を話し合う場づくり。

#### ②具体的な取組み

- (ア) めざす生徒像・付けたい力を全体で検討し、今年のテーマとする
- (イ) その目標に向かって何ができるかを、教科グループで検討する。
- (ウ) 教科グループで検討した内容を、全体で共有し、質疑などで深化する。
- (エ) (ア)～(ウ)を踏まえ、いくつかの研究授業を企画。← 1人で作るのではなくチームで作る。
- (オ) 研究授業ごとに研究協議を実施。
- (カ) アンケートを実施し、分析。全体で共有し、来年度に向けて検討を進める。

#### ③取組みの検証方法

- (1) 教員へのアンケート（↓おもな質問）

- ・今回の取組みで学んだことを、今後の授業や生徒指導に活かすことができると思いますか。
- ・今回、「愛される人材の育成」という共有したい目標を設定しました。この目標への現時点での理解度を教えてください。
- ・「布施工スタンダード」について、ご意見があればお願いします。
- ・研究授業・研究協議に参加された方は、参加されて良かった点を教えてください。
- ・研究授業・研究協議に参加されなかった方は、参加できなかった理由を教えてください。

### 3 取組みの検証

#### (1) 校内研究の成果

①今年度のテーマを、カリキュラムマネジメントチームで検討。

⇒グループワークなどを通して、本校の生徒につけたい力を共有できた。

②テーマに沿う、授業の工夫点を、系・教科ごとに検討→全体で共有

⇒普段触れない他の教員・系・教科のアイデアを知る機会になった。

☆教員アンケート「学んだことを今後の授業や生徒指導に活かすことができる」の肯定回答  
92.3%

③研究授業（テーマを意識）・研究協議

+生徒の観察を意識した新授業見学シート&「布施工スタンダード」

⇒同じ題材（授業）を見た教員たちで、感じたこと気になったことを共有することで、指導時の意識・生徒の見方・授業規律の整え方など、学びが多かった。

#### (2) 生徒の変容（授業改善により生徒にどのような育ちが見られるか）

私個人としては、特に授業規律について多くの先生方と意見交換したことで、指導のポイントとその背景にある生徒に持たせたい意識を理解することができた。「授業への準備」「あいさつ」「授業の受け方」などの指導が変わったことで、生徒の授業への取組みがよりよくなった（授業と休み時間の切り替えができる、集中力が増した、姿勢がよくなった、など）。

#### (3) 教員の変容（授業改善により教員が何を学んだか・どのような感想をもったか）

布施工科の全教員で共有したい意識などをまとめた「布施工スタンダード」を作成したことで、布施工科の授業における基準が学校全体で共有できた。成績連絡会議で学年が利用するなど、幅広く活用された。来年度は新転任者のガイダンスでも用いられることになった。

### 4 今後に向けて

#### (1) 今年度の課題

①カリキュラムマネジメントへの取組みに対する教員間の意識に差がある。

②研究授業に参加した教員に比べて、そのあとの研究協議に参加する教員が少なかった。

#### (2) 次年度に向けて

①年度末に校内で成果報告を行い、意義やグッドケースを粘り強く発信していく。

②研究協議に参加しやすい計画を検討する。（1日を短縮授業にし、放課後に研究協議など）

# 授業見学シート

授業名 \_\_\_\_\_ 見学クラス \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 系 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) \_\_\_\_\_ 限目  
授業担当者 \_\_\_\_\_ 先生 参観者 \_\_\_\_\_

クラスの様子

--

気づいた点

--

生徒の「良かった点」「気になった点」など（裏面も参照）

(例) ( 布工 太郎 ) さん	( ) さん
先生が言ったことや、友達の意見を熱心にメモしていた。わからない単語をPCで調べていた。友だちに教えていた。	
( ) さん	( ) さん



## 令和4年度 校内研修年間実施報告書

### 1 令和4年度の目標（テーマ・主題）

「愛される人材の育成」  
 →全員がここを意識（思い・着眼点を共有）して指導・授業をおこなう。規律（社会適応・時刻を守る）、夢・自己実現（学習・人間関係調整力）、計画推進力（計画力・整理・整頓）などの先（「人が求めるもの、喜ぶこと」を読み取って行動できる）に“愛され”がある。

### 2 実施日・内容等

月	日	校 内 研 究 の 実 際	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
5	6～ 20	第1回授業見学週間の状況の分析	第1回授業見学週間 ・教科内外の授業をそれぞれ1回見学 ・授業見学シートの活用
7	19	カリマネチーム発足 第1回ミーティング ・今年度のチーム目標や活動の確認 ・第1回授業見学 週間の課題確認	
9	6 22	第2回ミーティング ・今年度の <u>研究授業のテーマ</u> を設定 ・研究授業実施教科の検討 (+10年・初任研教員)	研究授業実施教科・チームでテーマを意識した授業の工夫点などを検討 →意見・工夫・改善点などをまとめる。 ⇒有志メンバーで共有
10	11	第3回ミーティング ・授業の工夫点などを共有 ・授業見学シートの改善 ・研究協議の進行の検討 ※中心は <u>生徒観察</u> →生徒の取組みの様子から授業方法を考える。	研究授業担当教科で（個人に任せない） テーマに合わせた授業案の作成
11	1～ 18	第2回授業見学週間における、 研究授業の調整・周知 →終了後、教員アンケート	研究授業（8コマ）と研究協議に参加数する。
12	20	アンケートの共有 アンケートを踏まえた試行	
3	1	成果報告と来年度の計画の共有	公開授業実施（2コマ）に参加する。  来年度の計画を共有

## 令和5年度 校内研修年間実施計画書

### 1 令和5年度の目標（テーマ・主題）

- 「愛される人材の育成」（←昨年度のもの。今後は理念として意識し続ける）
- 来年度は、教員アンケートを実施し、教員のニーズに合うようなテーマを設定する。

### 2 年間予定

月	日	校 内 研 究 計 画	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
5	9～ 19	第1回授業見学週間の状況の分析	第1回授業見学週間 ・教科内外の授業をそれぞれ1回見学 ・授業見学シートの活用
7	10	第1回ミーティング（カリマネチーム発足） ・今年度のチーム目標や活動の確認 ・第1回授業見学週間の課題確認 ・アンケート内容の検討	
7	18	アンケートを実施	1学期の授業を踏まえて、アンケートに回答
8	25	第2回ミーティング ・今年度の <u>研究授業のテーマ</u> を設定 ・研究授業実施教科の検討 (+10年研・初任研の教員)	研究授業実施教科・チームでテーマを意識した授業の工夫点などを検討
10	11	第3回ミーティング ・授業の工夫点などを共有 ・授業見学シートの改善 ・研究協議の進行の検討	研究授業担当教科で（個人に任せない） テーマに合わせた授業案の作成
11	1～ 17	第2回授業見学週間における、研究授業の調整・周知	研究授業に参加する。
11	16	研究協議日 →終了後、教員アンケート	研究協議に参加する。
12	7	アンケートの共有	来年度の計画を共有
1	25	成果報告と来年度の計画の共有	